

3.11 とセクシュアリティ

—いのち・人権・こころ 守れたもの 守れなかったもの—

震災後、被災地の人権やセクシュアリティを守るための活動が活発化しました。しかし、その活動の中で「人権や性について気にしている余裕は無かった」という被災者からの声があることも一つの現実で、その両方のすり合わせが進まない状況もあります。そこで、震災時の津波被害にあい、現在は東京で生活されているメインスピーカーから、震災時の状況やその後の生活などをお伺いし、災害時の現実に向き合っ自分何ができるのかをあらためて考えてみませんか。

メインスピーカー

内海章友さん（性と人権ネットワーク ESTO 副代表）

精神保健福祉士、アラフォー世代の平凡な Gay。東日本大震災・大津波により東京での避難生活中。主にトラウマ・自己肯定感・自殺等について様々なセクシュアル・マイノリティーズが主催する勉強会にて学びを深めている。時にセクシュアル・マイノリティーズ当事者支援、講演、執筆を行う。

※ 日時：11月22日（日）13：30～15：30

※ 会場：エル・パーク仙台 セミナーホール
（141ビル（仙台三越定禅寺通り館）5F）

※ 参加費：500円

※ 問合せ先：TEL 080-6049-8843
FAX 050-1450-6768
E-mail esto@estonet.info

<託児について>

- * 対象：6ヶ月以上小学校1年生まで
（しょうがいのあるお子さんや上のお子さんについてもご相談ください）
- * 託児利用料：300円（子ども1人1回）
- * 託児申込〆切：11月12日（木）先着順、定員になり次第締切です。
- * 託児問合せ・申込先：エル・パーク仙台管理事業課

TEL 022-268-8300 FAX 022-268-8304

主催：（公財）せんだい男女共同参画財団
企画：性と人権ネットワーク ESTO